

功労賞に1人・2団体決まる

グループ〈わ〉の27年度功労賞は、4月7日の理事会で、別表のとおり個人1人団体2グループに決まりました。5月23日の〈わ〉の総会で表彰式が行われます。（広報・井口久美子）

【功労会員】

児玉浄（生1）＝コーラスで慰問活動11年

【功労グループ】

広陵パソコン教室＝地域でパソコン指導

kSC民謡クラブ＝民謡で施設訪問12年。

区会・部会・個人から推薦のあった会員1人、団体グループを対象に、3月24日にあった運営委員会で選考。活動歴や活動内容の審査を経て、4月7日の理事会で正式に決まったものです。有権者は、理事・区会長・部会長ら36人で、うち病欠・棄権は2人。22年度から始まった表彰制度は今年で6回目。これで、個人16人、団体14グループが受賞したことになります。

施設訪問や地域でパソコン指導

【表彰会員・団体の活動内容】（敬称略）

▼児玉浄（生1）＝水野俊夫推薦＝H11年、カレッジ卒業と同時に西区会を立ち上げ、9年間に亘って区会長・役員を務める。15年には、コーラスグルー

プ（コーロむつみ）を結成。趣味の社交ダンスの指導とともに、高齢者施設を中心に慰問活動を行っている。昨年は、10周年記念コンサートを西区民センターで開催し企画運営を担当。長年にわたる意欲溢れる活動は、区会員の範となっている。

▼広陵パソコン教室（代表・横井正昭、在籍9人）＝土井昭政推薦＝グループ設立7年。広陵地区パソコン教室開講を機に、区会活動として取り組む。メンバーの交代はあるものの、現役時代に培った技術と分かりやすい指導で、地域住民にも好評を得ている。これまでに、100人を超す人が終了しており、地域の役員会でもパソコンを使用するなど、成果が確実に表れてきている。

▼民謡クラブ（代表・待鳥孝夫、在籍58人）＝重松豊彦推薦＝H15年クラブ設立以来、12年間にわたり高齢者施設を中心に慰問活動を月1～2回、定期演奏会は、毎年開催している。また、東北支援チームの一員として参加するなど、幅広い活動を行っており、訪問先では、三味線、尺八などに合わせたの唄や踊りが好評で、演目も対象に応じて創意工夫を凝らしている。

総会は5月23日 午後は舞台発表

グループ〈わ〉は、27年度総会を5月23日（土）にカレッジホールで開催します。69号で、5月16日とご案内をしましたが、学校行事の関係で23日に変更になったものです。多くの皆様のご出席をお願いいたします。

午前10時から総会。功労会員の表彰式があり、昼食をはさんで、午後1時から文化部会・福祉部会の9サークル（わらい届け隊・KSC男声合唱団・kSC手話同好会・kSC民謡クラブ・SCハワイアンズ・SCクラブ大正琴・楽遊クラブ銀雅・明生園もみじ会・あんだんて）による舞台発表の後、最後にピンゴゲームを予定しています。どうぞお楽しみに…。総会資料は、「ぎゃらりーわ」4月号（70号）に同封しています。出欠のご返事は、昼食の弁当注文の関係で5月12日（火）までをお願いします。

いなみの学園から来訪

いなみの学園・藤原理事と兵庫大・田端教授が、生涯学習の実態調査のため3月3日、〈わ〉を訪れ、堺理事長、南形監事、永野理事と懇談。

「いなみのでは、地域や社会へ還元しようとNPO団体設立を検討しているが、ボランティアへの関心が薄れており、入学者も減っている。〈わ〉の現状はどうですか」と田端教授らから質問があり、堺理事長は「こちらも同じような状況。ボランティア活動に熱心な会員は漸減。ポラ団体も会員の高齢化で解散が増えており、頭が痛い」と説明しました。

田端教授は、「1970年代は、学ぶだけで喜びと生きがいを感じていただけた。最近では戦後の民主教育が浸透し、権利意識は高いが、義務の方はもう一つ。学生へのアンケート調査を通じて、有効な提言をまとめたい」とのべ、今後も双方で意見交換をすることになりました。（広報・永野知己）